

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

4-I-14

4-I-14

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	14 トイレの洋式化		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡市建設課、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 ○ トイレの洋式化により外国人観光客の受入環境整備を図る。			
	【事業内容】 ○ 市内全域において主要な既設公衆トイレの洋式化整備について、計画的に実施する。 ○ 民間施設のトイレについて洋式化を推進する。			
事業実績	【事業成果】 ● 今年度は、島内在住のALTや国際交流員により定期観光バスや立寄り施設等のモニター調査を行い、実際に外国人の目線で移動や案内の現状について調査した。 ● トイレ洋式化については、主要なトイレを抽出し、計画的な整備を3ヶ年掛けて行っており、2年目となるH28年度は、千畳敷等5箇所を整備した。			
	【課題】 ■ 今後は、徒歩等で移動するパターンが多くなると予想される相川市街地エリア内の計画に着手する必要がある。 【今後の取組】 ■ H29以降、相川市街地におけるトイレ洋式化に着手する。			
今後の取組・課題				
事業評価	【事業の達成度】 [a (b) ・ c]			
	【事業実施の効果】 [a (b) ・ c]			
	【総合評価】 [A (B) ・ C]			

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。